

令和 2年 8月 3日

浜田市議会議長
川神 裕司 様

議員名 柳楽 真智子 

調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため研修等を行ったので、その結果を報告します。

記

1. 期 間 令和 2年 7月 22日 (水) 13:15 ~ 16:15
2. 研修内容 「議員の資質向上と政務活動費活用策」
3. 研 修 先 自治体議会特別セミナーin松江
島根県民会館 305 会議室
4. 調査経費 5,000 円
(経費内訳 受講料 5,000 円)
5. 調査研究活動の概要

別紙のとおり



自治体議会研究所代表の高沖秀宣氏による研修会に参しました。

【議員の資質向上】

議会の機能

- 議決機関としての議会の機能。
- 首長その他の執行機関の執務に対し、これを監視する機能。
- 議事機関としての審議・議決・議案提出を通じ、政策形成機能を担う。
現状では、あまり政策形成機能が発揮されていない。
- 議会は住民代表機関であり、議決機関である。多様な民意の反映が求められるが、民意を取り入れる取組みが不足していることが課題。
- 議決責任を深く認識し、議会機能の強化や活性化に取組み、議員力・議会力を強化することが大事。大阪府の堺市議会では、全議員で議会力向上会議を行っている。
- 地域の政策課題を的確に把握し必要な情報収集を行いながら、政策提言・政策立案をおこなうことや、合議体の議会において意見集約し、合意を得るための調整能力も必要。
- 予算修正のない議会は問題。
- 議会として議員の専門性を高めるための研修を絶えず行うとともに、公聴会や参考人制度等の活用を図りながら、議会の専門性を高めていくべきである。
- 住民に開かれ、住民とともに歩む議会。
- 執行機関の追認機関から脱皮し、自治体意思の決定機関としての自覚。
- 議員同士の討議を中心とした議会運営。戦略を持って政策提言できる議会へ。
- これまでの「監視型」議会から「政策提言型」議会へ。

議会改革について

- 二元代表制の下で議会の役割を十分に発揮するために、議会力を強化すること。
- 定数削減や議員報酬の減額は議会改革なのか。行政改革の考え方を議会に持ち込むのは誤りである。
- 二元代表制を追求し、実質化していくこと。

【政務活動費活用策】

- 議員活動を積極的に行うことが前提であり、本会議の質問や委員会調査、住民意見の把握や行政問題に対する解決策の模索などの、政務活動にどのように活用するか。活用した実績は議員に立証責任があり、住民を納得させることが重要。
- 政務活動費を使って調査研究を行い、その結果を何らかの政策に練り上げ、条例の提案まで持ち込むことができるかがポイントである。

所感

今回の研修を受けて感じたことは、議員個人の議員力の向上も必要だが、民意の集約に取組み、議会として様々な課題解決のための議論を行いながら、政策や条例の提案に繋げていく議会力を向上させることが重要だと感じました。

また、政務活動費の活用については、これまでも行ってきましたが、質問や提案を通して課題解決に取り組んで行きたいと思います。